

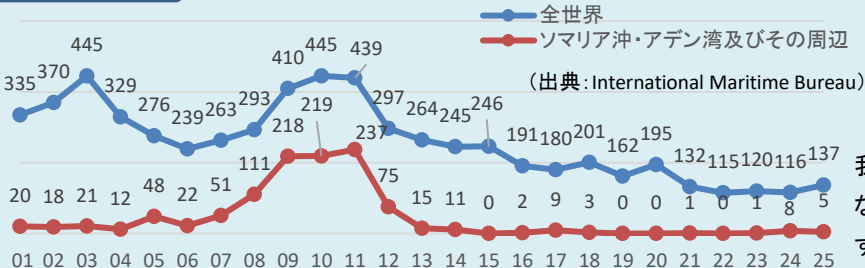
# 「2025年 海賊対処レポート」のポイント

2026年3月 内閣官房

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処について、我が国では、自衛隊部隊の派遣を始め、国際社会と協力して様々な取組を行っています。

2025年のソマリア沖・アデン湾の海賊の動向や我が国の取組とその成果等とをとりまとめました。

## 海賊の現状



我が国を含む国際社会の取組により、ソマリア沖・アデン湾における海賊等事案の発生件数は近年低調なまま推移していましたが、2024年には8件、2025年には5件の事案が発生しているほか、海賊を生み出す根本的な原因は未だ解決しておらず、依然予断を許さない状況です。

## ソマリア沖・アデン湾の海賊に対する我が国の取組

2009年6月、「海賊行為の処罰及び海賊行為への対処に関する法律」が成立し、同年7月から同法に基づく海賊対処行動として、自衛隊部隊が、ソマリア沖・アデン湾において海賊行為に対処するための護衛活動及び警戒監視活動を行っています。

### 海賊対処部隊による対応事例

2025年、海賊対処部隊のP-3C哨戒機は、1件の事案に対処しました。海賊対処部隊は、事案に関する情報を受け、現場海域に向かい情報収集を実施するとともに、海賊対処を任務とする第151連合任務群に対し、現場で得た情報を迅速に提供する等の対応を行いました。

### 派遣海賊対処行動部隊

- 水上部隊(約200名/護衛艦1隻)海上保安官8名同乗
- 航空隊(約60名/P-3C哨戒機1機)
- 支援隊(約130名)

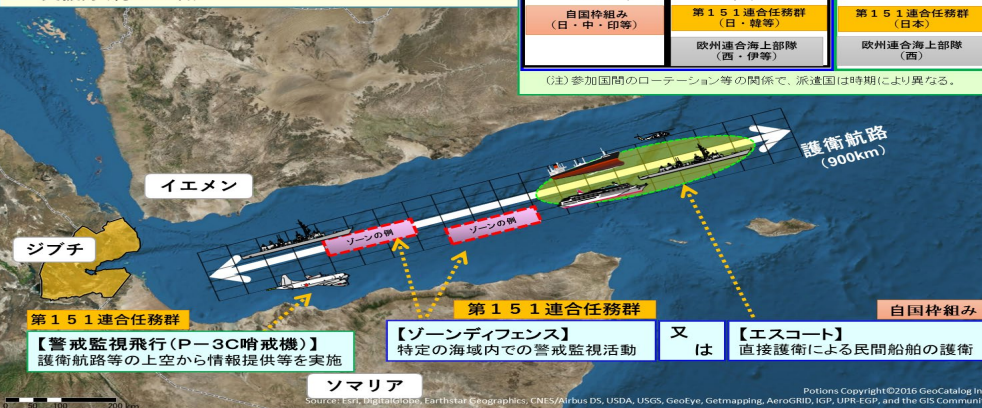
### 各国の活動状況

艦艇		航空機
エスコート 自国枠組み (日・中・印等)	ゾーンディフェンス 第151連合任務群 (日・韓等) 欧州連合海上部隊 (西・伊等)	第151連合任務群 (日本) 欧州連合海上部隊 (西)

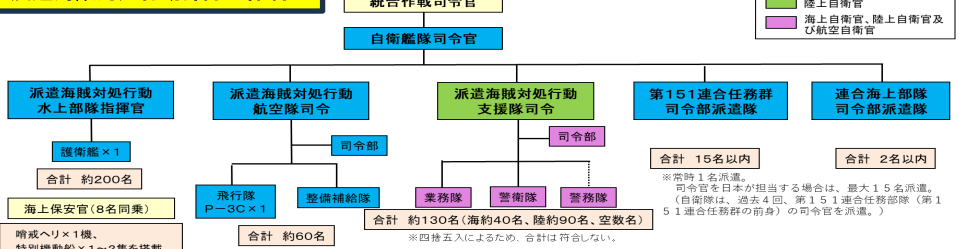
(注)参加国間のローテーション等の関係で、派遣国は時期により異なる。

### 2025年の活動実績 ※カッコ内は累計

- 護衛艦による護衛活動  
護衛回数: 0回(877回) 護衛隻数: 0隻(3,955隻)
- P-3C哨戒機による監視活動  
飛行回数: 148回(3,517回)  
飛行時間: 約980時間(約25,030時間)  
確認した商船数: 4,709隻(291,960隻)  
情報提供回数: 186回(16,591回)



## 派遣海賊対処行動部隊の体制



## 海上保安庁による法執行能力向上支援